



# よこはま プロバス通信

No4 2011年10月発行

<http://yokohama1probus.web.fc2.com/TR3.html>

情報委員会・編集委員

情報委員会所在地：横浜市中区港町3-13番地 弁慶内 電話：045-651-3643

## 15周年に向けて スタート切ろう

会長 森山 功

私たちの倶楽部は本年1月に創立10周年を迎え、前期に続きこの1年間を「創立10周年記念の年」として位置付け、更に「15周年に向けての出発の年」と決め、取り組んでいく決意でございます。

そこで会員名簿の改訂版発行、「ご入会の葉」を作成。組織の拡張・充実～会員の倍増・活動の活性化運動～等に全員で取り組む資料といたします。会報誌「よこはまプロバス通信」の定期発行。さらに活動の拡充の一環としてサロン・同好会の発足、支援、他クラブとの交流推進特に県下クラブはもとより東京多摩及び八王子の両クラブとも親密な友好関係を構築する。また情報活動を本格的に取り組めます。ホームページの拡充、会員相互の連携を考えメンバーリングリストの作成等を事業として掲げ実施して参ります。

これまでの10年間を糧に次なる15周年に向かって、

- (1) 会員一人一人が相互理解を深め、より一層のコミュニケーションを図ることにより皆が仲良しで楽しい倶楽部にしよう。
- (2) クラブに関する情報をはじめ、各種情報を会員間で共有することにより、会員個々の自発的な活動及び倶楽部全体の活性化を図ろう。
- (3) 倶楽部のメンバーに相応しい人に声をかけるなど、一人でも多くの方が仲間になってもらう等プロバスクラブの輪を広げよう。

という前会長加藤武氏の三つの提唱を引き続き私も提唱したいと思います。

楽しく集い合い、生き生きと活動するわがプロバス倶楽部そのものが高齢化社会の一つの模範であり、多くの方々に希望と勇気を与えることでしょう。

お互い切磋琢磨し、「これからだ」との気概で「快適な人生の創造」に取り組み15周年を目標にして「さあ～今日も元気で」スタートしましょう。



かとう ゆたか

No79 加藤 豊

1945年12月8日生

- ①ブラシック成形加工販売
- ②(株)コーマー取締役社長・(現)同社取締役会長
- ③岐阜県
- ④ゴルフ、旅行、押し花造り
- ⑤伊勢原市岡崎

しみず としみつ

No80 清水 利光

1941年10月24日生

- ①地方公務員
- ②横浜市副市長、神奈川臨海鉄道(株)取締役会長・(現)同社顧問
- ③神奈川県
- ④城、神社仏閣めぐり
- ⑤横須賀市岩戸

おかべ まさひさ

No81 岡部 正久

1937年12月16日生

- ①地方公務員
- ②横浜市中区長、横浜市大事務局長、(社)神奈川県建築士会事務局長、NPO横浜マンション管理組合監事・マンション相談員
- ③東京都
- ④囲碁、ゴルフ、木版画
- ⑤横浜市泉区領家

- ①職種②経歴③出身地
- ④趣味・特技⑤住所

## 組織拡充に 取り組もう

幹事 松下尚雄

幹事(例会委員長兼務)の松下尚雄です。当倶楽部には前会長の加藤武さんに御紹介いただき入会し、早1年。倶楽部の役員と現役経営者として、2足の草鞋を履き、日々葛藤しております。

然し、これからの日本はますます高齢化社会に向いプロバス倶楽部の役割がいかに重要不可欠か、私なりに徐々に理解が出来た様な思いが致しております。

1965年にロータリークラブの奉仕活動の一環として、高齢化社会に対応する為に英国で誕生し、瞬く間に全世界に広がり、その目的は会員相互の親睦、交流をより深め、夫々の豊かな社会体験や知識等を語り合い、学び合い、そしてお互いのライフワークを広げる魅力ある倶楽部なのです。

また、加藤武さんが掲げた私の考えと同じだと全日本プロバス協議会が提唱している内容を抜粋した一文が大変印象に残っております。それは

- みんなで楽しい、和やかな、ゆったりとしたクラブ おのずと集って行きたくなるようなクラブ
- 知り合いの輪を広げる
- 親睦を図りながら、お互いの貴重な知識や体験をみんなに伝える
- 次の世代に伝える
- 世のため、人のために少しでもお役に立つ (プロバス通信創刊号に記載)

私はこの加藤さんの思いを実現するために会員の皆様と共に努力をしていきたいと思っています。この様な素敵な倶楽部を多くの方々に広め、共に学び、今後の豊かな活力のある人生を皆様と楽しく過ごしたく思います。

卒寿を迎えられた加藤義一さん初め80歳以上の方々が例会に欠かすことなくご出席いただいております。この先輩の姿に大きな励ましのエネルギーを頂いております。素晴らしい素敵な役員の方々に囲まれ「楽しみ多い倶楽部造り」に取り組み、組織拡充に力を注いで参る所存でございます。

## 6月例会開催（第118回）

平成23年6月10日（金）午後2時から定時総会に先立ち、進交会館にて第118回例会が開催されました（28名出席）。

加藤会長挨拶の後、恒例の誕生月会員（岩城、保谷会員）への祝い品贈呈が行われ、その後、新入会員の中村芳之さんの紹介・挨拶がありました。引き続き定時総会が開催されました。

## 第12回 定時総会

加藤武会長が議長となり、以下の議事が執り行われました。

事業報告（東野副会長）  
決算報告（小磯会計）  
監査報告（櫻井会計監査）  
理事選出・新役員発表  
新年度活動方針説明（森山新会長から）  
例会等年間日程説明（松下尚雄新幹事）  
新年度収支予算（小磯会計）  
議事終了後、加藤現会長の退任挨拶と全役員のタスキ引き継ぎが実施されました。

引き続き開催の懇親会冒頭、森山新会長から就任の挨拶がありました。

## 新役員構成

会長；森山功 副会長；西山節雄  
幹事；松下尚雄 会計；小磯智功  
会計監査；松下 孝（理事）  
加藤 武（会長指名）

例会委員長；（幹事兼務）  
同副委員長；本橋ふみ子 会員委員長；岡賢治  
同副委員長；伊藤康子 情報委員長；関口尚親  
同副委員長；岩田慎一  
事務局；小磯智功  
以上の各氏が選出されました。

懇親会は、同会場にて、乙幡アドバイザーによる乾杯の音頭で盛大にスタートし、今月の歌「夏の思い出」斉唱を忘れるほどでした。

加藤会長始め22年度の役員の皆さま、大変お疲れ様でした。

## 7月例会開催（第119回）

平成23年7月8日（金）12時から、相生本店にて新役員による第1回の例会（第119回）が開催されました（32名出席）。

森山新会長から挨拶と今井昭吉ゲストスピーカー並びに吉川哲朗全日本プロバス協議会幹事長（来

浜ゲスト）の紹介がありました。

また、ビジターとして清水利光さん（入会予定）の紹介が行われ、引き続き、新入会の加藤豊さんの紹介とご本人からの挨拶がありました（新会員欄1面参照）。

次に7月の誕生月会員、佐藤博、關尚記、東野操、岡林明弘の4氏に、岡会員委員長からお祝い品の贈呈が行われました。

7月の会務報告（理事会協議事項）は以下の通りです。

全日本PC協議会次期会長就任要請について  
今期各委員会の委員

サークル・同好会の設立

会報紙「よこはまプロバス通信」及びホームページ、メーリングリスト

年会費上半期分納入の件 以上。

特別放談（今井昭吉氏 3Pに掲載）

月の歌「故郷」を合唱して閉会し、その後、各委員会別に本年度の活動打ち合わせを行いました。

なお、新旧会長等で遠来の吉川幹事長を港見物にご案内しました。

## 9月例会開催（第120回）

平成23年9月9日（金）12時から、相生本店にて2カ月ぶりの第120回定例会が開催されました（30名出席）。

森山会長挨拶の後、新入会員の清水利光さん、岡部正久さんの紹介、挨拶がありました（新会員欄1面参照）。

次に、9月に卒壽を迎えられる加藤義一アドバイザーにお祝いの記念品が会長から贈られました。「あちこちガタがきているが、気が付いたら卒壽を迎えた」との含蓄あるご挨拶を頂きました。

また、今月は、加藤義一先輩他8名の方に岡会員委員長から誕生祝い品が贈呈されました。

9月の会務報告（理事会協議事項）は以下の通りです。

サークル・同好会状況報告

会報紙「よこはまプロバス通信」（第4号）  
及びホームページ、メーリングリスト整備状況

10月移動例会と東京多摩PCとの交流会  
（11月24日）について

会員名簿作成状況と入会の葉作成について  
会費納入状況等報告 以上。

会員放談は、まず松下尚雄幹事から「健康と人生」と題して、長年苦しんだ腰痛が「ある時、或る人から、或る物」を頂き、ぱっと直ったという秘密の話が披露されました。

時間のない中、平野正弘さんからは、熱海の夜の名司会（昨秋）を彷彿とさせる講談調で、富士吉田の超大型キャンピングカーへの会員招待の話がありました。請うお楽しみ！  
演題「私とキャンプ」

月の歌「赤とんぼ」を斉唱して散会となりました。



▲総会終了後に懇親会を開催  
旧役員との一年間のご苦労の慰  
労会ともなった



第1回「ここにサロン」（暑氣払いを兼ね）開催20名参加の賑やかな会となりました

## <理事会等報告>

### 6月定例理事会 (6月17日出席者13名)

\*新旧会長あいさつ

報告事項;

・6月例会「総会・懇親会」の評価と反省について

・会員台帳の整備状況について

・①東京多摩②東京八王子③鎌倉PC等について

・その他

・新旧事務引き継ぎ ～現役員の皆様 御苦勞さまでした～

協議事項;

・全日本PC協議会会長等の就任依頼の件

・次期各委員会～7月例会後役員会開催～

・「女性サークル」及び「サロン・同好会」について

・7月第119回例会の内容及び開催通知について～開催通知は6月例会にて配布、欠席者には郵送～

・新入会会員・休会及び退会会員の承認及び誕生月祝い品について

・会報誌「よこはまプロバ通信」「ホームページ」について

・上期会費(6000円)の納入について

確認事項;

・各委員会等の具体的業務内容及び分担について

・2012年以降の役員選出方法について

### 7月定例理事会 (7月15日出席者10名)

報告事項;

・会員名簿の作成について

・各委員会開催結果報告について

・「にこにこサロン」(8/19)19名出席予定

・役員選出方法検討プロジェクトチーム開催について(9/16予定)

・上期会費(¥6000)納入状況について

・7月 あるこう会中止について

・9月例会の内容、10月の移動例会について

・組織拡充(会員倍増)運動の推進、新入会員清水利光氏の承認について

・プロバ通信第4号の発行(10月)の編集方針について

・全日本PC協議会会長、幹事長就任要請に関する意見交換会の結果について

・情報委員会正副2名が所用のため欠席につきサークル、同好会等に関する報告、協議は、次回理事会に於いて行う。

・その他

確認事項;理事会を委員長、副委員長がやむを得ず欠席の場合は委員の何人かの出席をお願いします。



### 8月定例理事会 (8月19日、出席者10名)

報告事項;

・会員名簿の作成状況について

・会員委員会開催(7/18)結果報告

申し合わせ事項;加藤義一氏の卒寿について

協議事項;

・9月の例会の会員放談テーマ及び当日の業務分担の確認

・10月移動例会の内容、開催通知について

・岡部正久氏の入会承認について

・サークル、同好会の設立世話人等について

・会報誌「横濱プロバ通信」第4号(10月発行)の編集方針等について

・その他

### 9月定例理事会 (9月16日、出席者13名)

報告事項;

・会員名簿、入会の葉の作成状況について

・会報誌「横濱プロバ通信」第4号(10月発行)について

・①東京多摩②東京八王子③鎌倉PC等について

・全日本PC

・情報活動について

・その他 会計より

協議事項;

・10月の移動例会の確認及び当日の業務分担について

・11月例会の内容等について

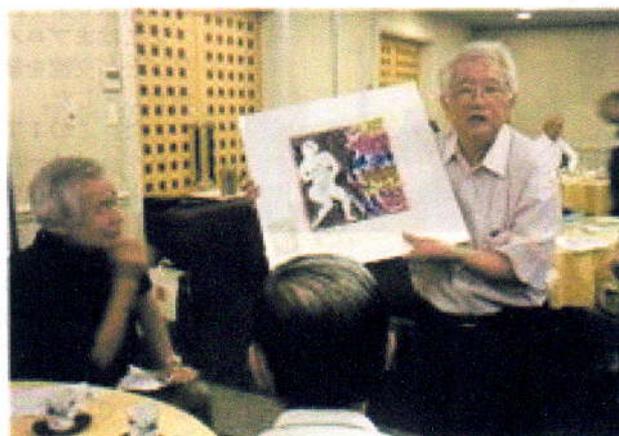
・サークル・同好会等について

・①東京多摩②東京八王子③全日本PC等の対応について

## ●7月例会での「特別放談」●

「棟方志功の世界～偽物、本物の見分け方～」と題して、銀座今井画廊の今井昭吉社長(元会員・故今井田津子氏夫君)から貴重な各種裏話をお聞きました。高価な実物(本物と偽物)も持参され、具体的に解説がありました。棟方志功ほど偽物が横行している版(板)画家はいないという。今井画廊に“本物”と自負して持ち込まれる作品でも偽物が多いそうだ。画そのものが“偽物”だけでなく“落款”や“鑑定書”まで“偽物”があるという。大変な世界だ。

会員の質問も尽きず、またの機会を楽しみにすることとしました。



作品を見せながらどこで見分けるか細かく説明する今井氏

会員 中村 實



7世紀の昔、律令制度により都筑地域は「武蔵国都筑郡」となった。そして都筑郡の防人服部於田（はとりべのうへた）とその妻砦女（あさめ）が詠んだ歌「わが行（ゆき）の息衝（いきつ）くしかば足柄（あしづな）の峯延（は）ほ 雲（くも）を見とと偲（しの）はね」

「わが夫（せな）を筑紫（きし）へ遣（や）りてうつくしみ帯（おび）は解（と）かなな綾（あや）にかも寝（ね）も」の二首が天平勝宝7（755）年萬葉集（巻20）に採用されている。

やがて14~15世紀に茅ヶ崎城が築城され（城址公園内）、明治4（1871）年には廃藩置県により「神奈川県都筑郡」となった。しかし昭和14（1939）年都筑郡の大部分は川崎市と横浜市に編入され、「都筑」の名称は一時期消えた。その後昭和40年に「横浜市6大事業」の一つとして港北ニュータウン開発事業計画が策定され、同49年に造成工事が着手されて現在の区を中心部が形成されるに至った。

そして平成6年11月6日市内18区中、最も若い区として「新しい都（みやこ）を築（きづ）く」という区民の総意をもって命名された「都筑区」が誕生した。

区の東縁に第3京浜（国道466号）、西縁に大山街道（国道246号）がはしり、南は鶴見川が東流、北は川崎市宮前区と接するという地域環境である。

市営地下鉄ブルーラインが平成5年10月に、グリーンラインが同20年3月に区内に開通して市内各地との往来が便利になった。また横浜市歴史博物館（平成7年1月）横浜国際プール（平成10年4月）横浜市北部病院<昭和大学>（平成13年4月）を初め大型商業施設も続々新設されて住宅地化も進み、区民平均年齢は38.31歳で市内では若々しい区として注目されている。

次号連載は 第4話 <市> の予定です



区民の足で大活躍の市営地下鉄ブルーライン（左上）憩いの場でもある横浜歴史博物館（左下）都筑区役所（右上）全てに真新しさと若々しさを感じさせる

<座談会・女性の時代 ③ >

加藤（武）総会で会長を退任いたしました、10周年記念式典、総会等と目まぐるしい1年でした。これからも会の発展に貢献して参りますのでよろしくお願い致します。

伊藤 皆さんとても素敵な方で、入会して、本当に良かったと思いました。それでさっそく友人の豊岡和子さんをお誘いしましたところ入会をされました。お住まいは東京で会社を経営されているためなかなか会の行事に参加できないのが悩みです。

加藤（武）これで女性会員も7名になりました。これからもよろしくお願い致します。今期は会員委員会の副委員長です

よね。伊藤 まだ何も分かりませんが会の発展のため一生懸命務めさせていただきます。



加藤武、伊藤さんと懇談する豊岡さん（8月第1回「にこにこサロン」にて）

岩城 女性でチャーターメン

バーは私一人になりました。私も仕事をしている関係で思うように行事に参加できませんが、心は常に「横浜プロバス倶楽部にあり」の気持ちでいます。私が入会をお誘いした加藤道子さんが会の行事や諸々の事を伝えてくれますので助かっています。

本橋 今期の例会副委員長の任に就きました。3か月過ぎましたがもう1年くらいやった思いです。9月は司会をやりましたがなかなか難しいですね。

加藤（武）いやなかなか立派でしたよ。

東野 37名の会員の2割が女性になりますね。高齢化社会での女性の役割を考える女性のサークルがあってもいいようにおもいます。

加藤（武）そうですね。話は尽きませんが、この辺りで第1部を終了とし、今回は7号に掲載予定です。

編集後記

創刊号から丸1年、青木前情報委員長から引き継いで「よこはまプロバス通信」第4号を無事予定通り発行することができました。これも、記事を提供していただいた皆様の御陰と感謝致します。

「よこはまプロバス通信」は、外部にもっとアピールし他クラブとの交流を紙面を通じて行うことを目的に丁度1年前に創刊しました。

また、このIT時代に中々追いつけない会員が残念ながらいます。「メール」は易しく便利なものです。そこで情報委員会として、全会員にメールを通信手段として、内部連絡ができ、ホームページを閲覧・投稿等できるように、啓蒙推進をしたいと考えています。幸い 前向きに考えてくれる会員が沢山出てきて張り合いが出てきています。

次回5号が発行できるまでに、会員同士の通信手段がメールでできることを期待したいと思います。

前情報委員長のユウモアある編集後記を見習うよう頑張りますので、宜しくお願いします。（情報委員長・関口 尚親）